



「わたしたち」が生きる

『女性不況サバイバル』

竹信 三恵子 // 著 岩波書店 S366.3/タ

コロナ禍の下、ケア的労働を担う女性たちの雇用危機はいかに無いことにされ、放置されてきたのか。社会に埋め込まれた「不可視化と沈黙」を生み出す「6つの仕掛け」を丹念に浮き彫りにし、女性たちの懸命の模索をたどる。

『1980年、女たちは「自分」を語りはじめた』

河野 貴代美 // 著 幻冬舎 146.8/カ

日本で初めてフェミニズムの考えに基づいたカウンセリング・ルームを開いたのは、タイトルにもある1980年のこと。女性の抱える様々な苦痛は軽視されるものでした。彼女たちが語り、聞いてもらえるカウンセリング・ルームの創始者が、エンパワーメントの歴史を紐解いていく1冊です。

『男性育休の社会学』

中里 英樹 // 著 さいはて社 366.3/ナ

男性育休取得率向上の先に、われわれは何を目指すべきなのか？日本、ドイツ、北欧での調査をふまえ、育児をめぐる文化や言説、制度の内容、改正のプロセス、実践について分析し、構造転換に向けて方策を提示します。

『スカートと女性の歴史 ファッションと女らしさの二〇世紀の物語』

キンバリー・クリスマン=キャンベル // 著 原書房 383.1/ク

スカートの歴史が語る、移り変わる女らしさの表現。新しい時代の女らしさを再定義してゆくスカート。この本では20世紀に生まれた10の有名なスタイルを取り上げ、ジェンダー、価値観、アイデンティティーの変遷を読み解きます。

『ジェンダー目線の広告観察』

小林 美香 // 著 現代書館 674.2/コ

コンプレックスを刺激する脱毛・美容広告、バリエーションの少ない「できる男」像。この本では、ジェンダーの視点で公共空間にあふれる広告を読み解き、メディアリテラシーの必要性などを考察します。



男女共同参画 ブックリスト

2023年度
上半期購入分

三条市立図書館



「自分」を生きる

『女の子がいる場所は』

やまじ えびね // 著 KADOKAWA M/ヤ

モロッコ、インド、アフガニスタン、そして日本……国も宗教も文化も違う女の子たちに降りかかる「女の子」の呪縛。それぞれの国の10歳の少女たちが、「なぜ？」という疑問を抱きながらも、前向きに生きる姿を描いた漫画です。

『「女の子だから」のない世界へ おしえてジェンダー!』

プランインターナショナルジャパン // 編 合同出版 T367/オ

「女の子だから」「男の子だから」という呪いの言葉を捨てて、もっと自由に生きよう！社会的・文化的な役割としての性差「ジェンダー」についてマンガを交えてわかりやすく解説している本です。

『性暴力を受けたわたしは、今日もその後を生きています。』

池田 鮎美 // 著 梨の木舎 368.6/イ

この本は、著者の幼なじみが受けた性暴力と自死、そして自身が受けた性暴力について書かれています。性暴力は何を壊し、何を奪うものなのか。被害者自身による9000日の記録。性について、暴力について、社会について、日本の刑法について考えさせられる本です。

『パパだけど、ママになりました』

谷生 俊美 // 著 アスコム 916/タ

トランスジェンダー女性として、日テレで映画プロデューサーとして、一児の「ママ」として暮らす著者。男性として生まれながら「女性」として生きようと決断したのはなぜなのか。著者の歩んできた人生を、最愛の娘へ「手紙」として語る本です。

貸出中の本はご予約できます。
カウンターまでお申し出ください。



三條市立図書館
ホームページ



「あなた」と生きる

『男女の会話答え合わせ辞典 だからモメる！これで解決!』

男女のすれ違い検証委員会 // 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 143.1/ダ

え、なんで怒るの？夫・妻の言葉の違い、翻訳します！同じ日本語でも、その捉え方は実は単語レベルで、男女で大きく違う。この本では、「大人になる」「思い出す」「がんばる」などを取り上げ、夫婦のすれ違いや誤解をほどこきます。

『離れていても家族』

品田 知美〔ほか〕 // 著 亜紀書房 367.3/ハ

低い出生率と世界一進んだ高齢化、ひとり親世帯の貧困率、さらには同姓を強いられる唯一の制度を持つ現代の日本の家族とはどのようなものなのか。日本とイギリスの家族を調査、比較しながら、社会学者たちが日本の家族の実像を分析し、<ハッピーな家族>はどのように作ることができるのを考えます。

『ヤングケアラーの歩き方』

大庭 美代子 // 著 風鳴舎 369/オ

この本は、実際にヤングケアラー当事者だった9名の人生を旅に例えて、10テーマのストーリーで紹介しています。家族機能不全とそれがヤングケアラーに与える影響、周りの大人にできることなども紹介しています。

『僕のおじいちゃんは99歳。毎日がサプライズです』

芦名 秀介 // 著 KADOKAWA 369.2/ア

99歳になるヒロキおじいちゃんは要介護3ではあるものの、とっても元気！パワーのヒミツを人生を紐解きながら紹介します。おじいちゃんと暮らす著者がプライベートも充実させつつ、楽しみながら介護をしていくコツを公開しています。クスツと笑えて、役に立つ一冊です。

『臨床心理士と精神科医の夫婦が子育てで大事なことを全部まとめてみました』

杉野 珠理 // 著 荒田 智史 // 著 集英社クリエイティブ 379.9/ス

厳しくすべきか見守るべきか、親がリードすべきか子どものペースに合わせるべきか。臨床心理士と精神科医の夫婦が成長にともない変化していく子育ての課題と対応を、発達心理学、行動遺伝学、進化心理学の3つの視点でマンガを交えて解説します。